交付運用報告書

Asset Management One

フロンティア・ワールド・インカム・ファンド（年1回決算型）

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引き立てに預かり、厚くお礼申し上げます。
さて、ご投資いただいております「フロンティア・ワールド・インカム・ファンド（年１回決算型）」は、2018年９月18日に第５期決算を行いました。
当ファンドは、外国籍の投資信託証券を通じて、主として新興国の政府または政府機関などが発行する債券に実質的に投資します。当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2017年９月16日～2018年９月18日

第５期	決算日：2018年９月18日	
第５期末（2018年９月18日）	基準価額	12,814円
	純資産総額	883百万円
第５期	騰落率	△0.4%
	分配金合計	0円

（注１）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
（注２）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**
（受付時間：営業日の午前９時から午後５時まで）

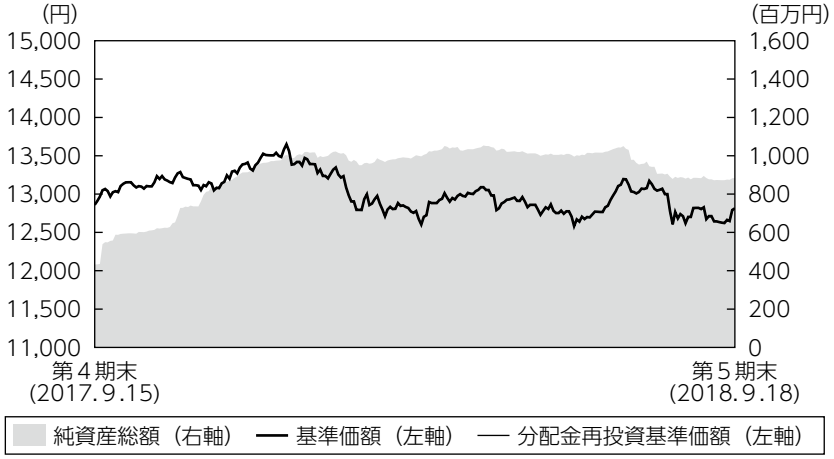
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2　http://www.am-one.co.jp/

運用経過の説明

基準価額等の推移



第５期首：　12,860円
第５期末：　12,814円
（既払分配金0円）
騰　落　率：　△0.4%
（分配金再投資ベース）

（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
（注４）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示してあります。
（注５）当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

フランクリン・テンプルトン・フロンティア・エマージング・マーケッツ・デット・ファンドの円建受益証券（以下、ボンド・ファンド）を通じて、主として新興国の政府または政府機関などが発行する債券に実質的に投資した結果、基準価額は小幅下落しました。

【主な上昇要因】

・日米の成長率格差や米国の利上げなどを背景とした円安米ドル高

【主な下落要因】

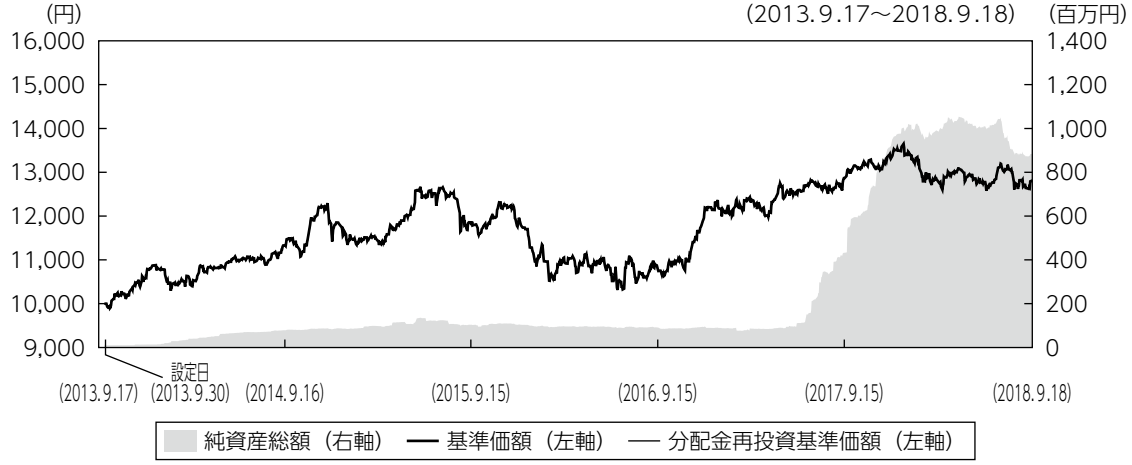
・世界貿易に対する懸念などを背景としたエマージング債券市場の下落ならびにエマージング通貨の対円での下落

１万口当たりの費用明細

項目	当期 (2017年９月16日～2018年９月18日)		項目の概要
	金額	比率	
(ａ) 信託報酬	149円	1.143%	(ａ) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は13,021円です。
(投信会社)	(60)	(0.457)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(85)	(0.653)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.033)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(ｂ) その他費用	0	0.003	(ｂ) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	149	1.146	

(注１) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
(注２) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注３) 比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第４位を四捨五入してあります。
(注４) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。
(注５) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当たりの費用明細」が取得できるものについては組入ファンドの概要に表示することとしております。

最近５年間の基準価額等の推移



（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、設定日の基準価額に合わせて指数化しています。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示してあります。

	2013年9月30日 設定日	2014年9月16日 決算日	2015年9月15日 決算日	2016年9月15日 決算日	2017年9月15日 決算日	2018年9月18日 決算日
基準価額（分配落）　（円）	10,000	11,336	11,825	10,770	12,860	12,814
期間分配金合計（税引前）　（円）	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率　（%）	－	13.4	4.3	△8.9	19.4	△0.4
参考指数の騰落率　（%）	－	19.0	12.2	△3.4	14.9	△2.6
純資産総額　（百万円）	10	78	103	90	432	883

（注１）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示してあります。
（注２）純資産総額の単位未満は切り捨てて表示してあります。
（注３）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2014年９月16日の騰落率は設定当初との比較です。
（注４）当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はJPモルガン エマージング マーケッツ ボンド インデックス グローバル ダイバーシファイド（円換算）です。参考指数については後掲の＜当ファンドの参考指数について＞をご参照ください。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。
（注５）参考指数は、基準価額への反映を考慮して、基準価額算出日前日の指数値を基準価額算出日当日の為替レート（対顧客電信売買相場仲値）で円換算してあります。

投資環境

●エマージング債券市場

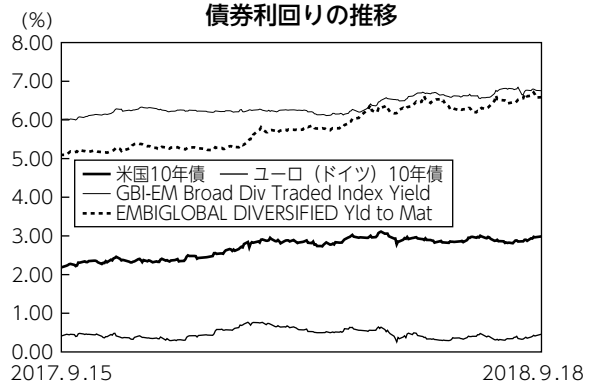
当期のエマージング債券市場は、世界貿易の行方や、トルコ、アルゼンチンなど一部の国に対する懸念がリスク回避の動きに繋がったことなどから軟調な結果となりました。期初は先進国債券市場と比較して高い利回りが享受できることなどを背景とした投資家需要が根強く底堅い推移となりましたが、2018年以降は米国の保護主義的な動きが世界貿易の先行き不透明感に繋がったことなどから軟調な動きに転じました。こうした環境の下、米国国債とエマージング債券の利回り格差を示す信用スプレッドは拡大しました。

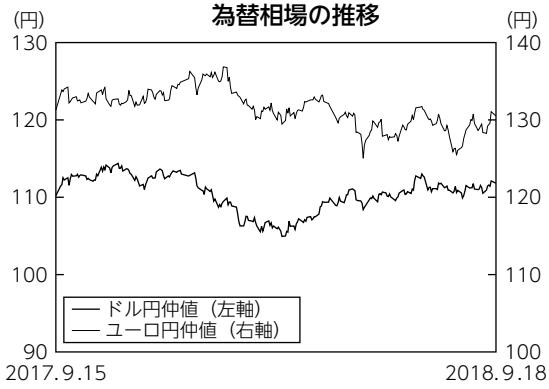
●為替市場

為替市場では、トランプ大統領の政策や世界貿易の行方などを睨みながら値動きの荒い展開となったものの、米国で堅調な景気動向などを背景に利上げが実施されたことなどから円安米ドル高となりました。エマージング通貨においては、リスク回避の動きなどを反映して対米ドルで概ね軟調となりました。とりわけ、IMF（国際通貨基金）に対して資金援助要請を行ったアルゼンチンペソや米国との関係悪化が懸念されたトルコリラなどの下落が目立ちました。

●国内短期金融市場

日銀は期を通じて金融緩和姿勢を維持する一方、市場の状況を見ながら国庫短期証券の保有残高を減少させました。こうした環境下、３ヵ月物国庫短期証券の利回りは、マイナス圏で推移しました。



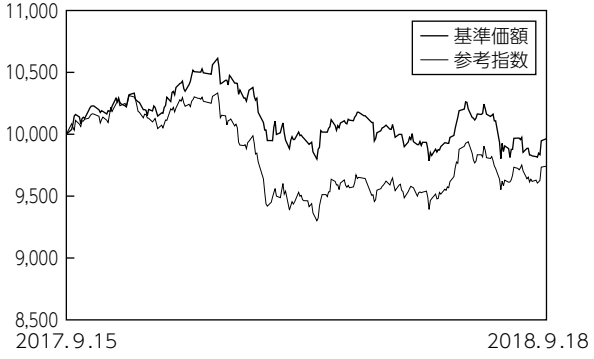


ポートフォリオについて

●当ファンド

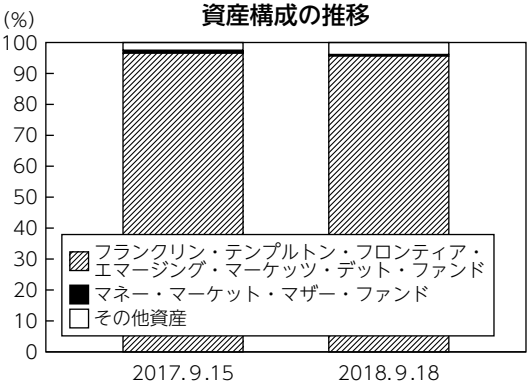
ボンド・ファンドへの投資配分については、資金動向や市場動向等を勘案して、期を通して高位としました。また、マネー・マーケット・マザーファンドへの投資も継続しました。

基準価額と市況の推移



※第４期末を10,000とした指数で表示しております。

資産構成の推移

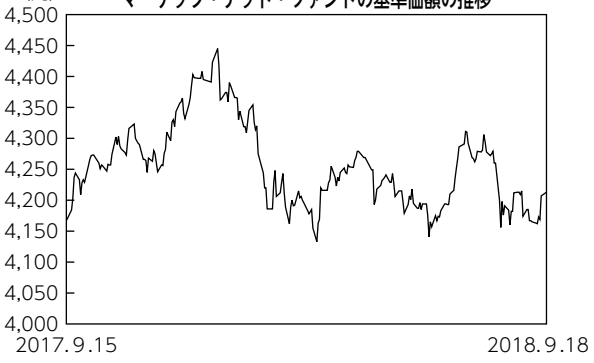


※比率は、純資産総額に対する割合。

●ボンド・ファンド

新興国の政府または政府機関等が発行する債券を高位に組み入れることにより、長期的に安定した収益の確保を目指した運用を行いました。新興国の経済状況、金融政策見通しや債券市況の動向を分析してポートフォリオの構築に努めました。当期末時点におけるボンド・ファンドの平均最終利回り7.9%程度、平均直接利回り6.6%程度、デュレーション4.5年程度、通貨配分は、米ドルを中心とした先進国通貨が69%程度、エマージング通貨を28%程度としました。

フランクリン・テンプルトン・フロンティア・エマージング・マーケッツ・デット・ファンドの基準価額の推移



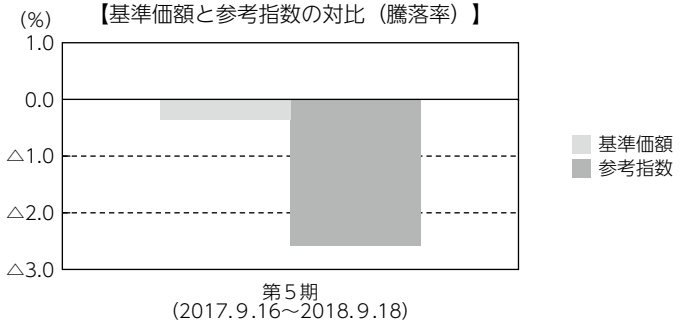
※当作成期間における分配金（累計）を加算しています。

●マネー・マーケット・マザーファンド
主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指す運用方針を維持しましたが、マイナス利回りの債券については投資を見送りました。当期末時点の債券組入比率は０％となっています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

【基準価額と参考指数の対比（騰落率）】



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金につきましてはファンドの商品性等を勘案し、無分配とさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（１万口当たり）

項目		第５期 2017年９月16日 ～2018年９月18日
当期分配金（税引前）		－円
対基準価額比率		－％
	当期の収益	－円
	当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額		10,422円

（注１）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
（注２）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
（注３）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

資金動向や市場動向等に留意し、引き続きボンド・ファンドへの投資配分を高位に維持して、新興国の政府または政府機関等が発行する債券に実質的に投資することにより、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指す方針です。また国内の短期金融市場動向に加え、資金繰りの状況等を勘案して、マネー・マーケット・マザーファンドの組み入れを適宜行う方針です。

●ボンド・ファンド

エマージング債券市場は、先進国経済にやや減速感が窺え新興国との成長格差が拡大し、比較的高い利回りが享受できることを背景とした投資家需要が継続すると考えられることから底堅い展開を想定しています。また、米ドル高による影響が懸念されるものの、足元でエマージング債券市場が調整し割高感が解消されたことや、過去と比較して新興国のファンダメンタルズが改善していることもエマージング債券市場を下支えすると考えています。なお、トルコに関しては大統領の動向を睨み値動きの荒い展開が見込まれますが、国内の問題と位置付けられることからエマージング債券市場全体への影響は限定的と考えています。こうした見通しの下、各国固有の状況等を考慮しながら積極的に投資機会を模索し、ポートフォリオを構築していく方針です。

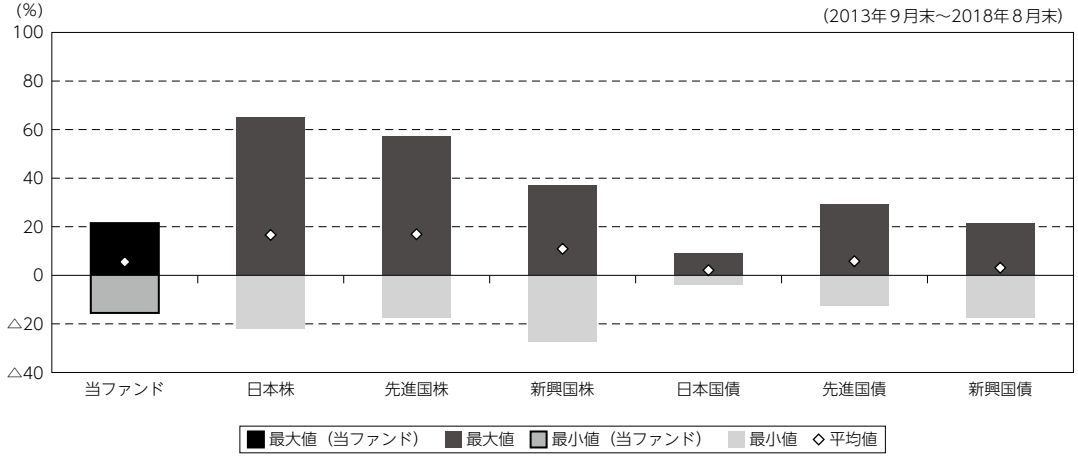
●マネー・マーケット・マザーファンド

金利水準等に注視しながらわが国の短期公社債を中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2013年９月30日から2028年９月15日まで。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	フロンティア・ワールド・インカム・ファンド（年１回決算型）	投資信託証券を主要投資対象とします。
	フランクリン・テンプルトン・フロンティア・エマージング・マーケッツ・デット・ファンド	上場または非上場の新興諸国のソブリン債または準ソブリン債に主として投資を行います。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債。
運用方法	以下の投資信託証券を通じて、主として新興国の政府または政府機関等が発行する債券に実質的に投資を行い、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 ケイマン諸島籍外国投資信託 　フランクリン・テンプルトン・フロンティア・エマージング・マーケッツ・デット・ファンドの円建受益証券 内国証券投資信託（親投資信託） 　マネー・マーケット・マザーファンドの受益証券	
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、基準価額水準や市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：％）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	21.5	65.0	57.1	37.2	9.3	29.1	21.4
最小値	△15.5	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	5.5	16.6	16.9	10.9	2.1	5.8	3.1

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2013年９月から2018年８月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは、2014年９月以降の年間騰落率を用いています。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

＊各資産クラスの指数
日本株……東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）
先進国株…ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株…ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債…ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債
先進国債…ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債…ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド（円ベース）
（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

各資産クラスの騰落率について
騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに、株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

当ファンドのデータ

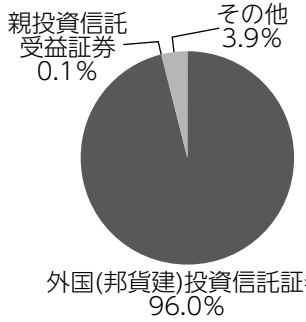
当ファンドの組入資産の内容（2018年９月18日現在）

◆組入ファンド等

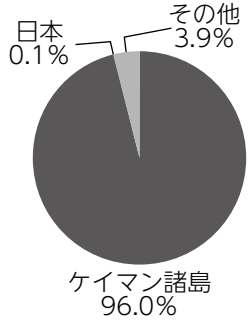
	第５期末
	2018年９月18日
フランクリン・テンプルトン・フロンティア・エマージング・マーケッツ・デット・ファンド	96.0%
マネー・マーケット・マザーファンド	0.1
組入銘柄数	2銘柄

（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載してあります。

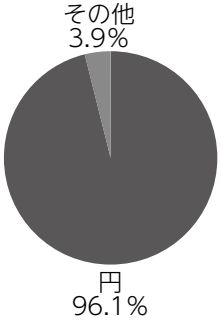
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。
（注３）その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。
（注４）比率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

純資産等

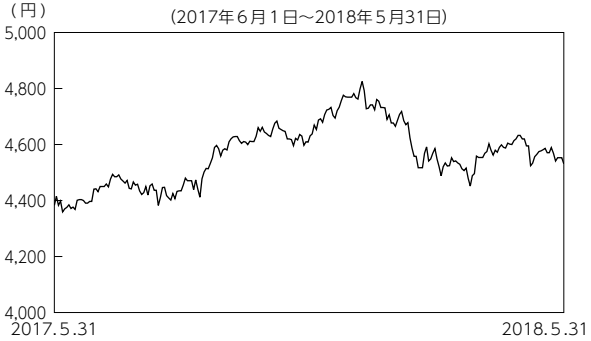
項目	第５期末
	2018年９月18日
純資産総額	883,989,196円
受益権総口数	689,878,997口
1万口当たり基準価額	12,814円

（注）当期中における追加設定元本額は633,622,593円、同解約元本額は279,939,138円です。

組入ファンドの概要

［フランクリン・テンプルトン・フロンティア・エマージング・マーケッツ・デット・ファンド］

◆基準価額の推移



◆１万口当たりの費用明細

(2017年６月１日～2018年５月31日)

当該期間の１万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

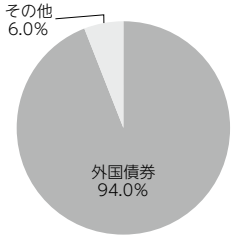
◆組入上位10銘柄

(2018年５月31日現在)

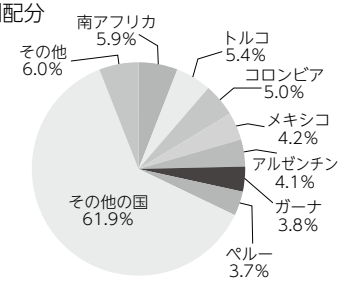
	銘柄名	業種／種類別	国（地域）	比率
				%
1	South Africa Republic of 7.00% due 28/02/2031	債券	南アフリカ	4.4
2	Angolan Government International Bond 9.50% due 12/11/2025 REGS	債券	アンゴラ	3.7
3	Uruguay Republic of 3.70% due 26/06/2037 Index Linked	債券	ウルグアイ	3.4
4	Nigeria Central Bank of WRD Exp 15/11/2020 REGS	原油ワラント	ナイジェリア	3.2
5	Mexican Fixed Rate Bonds 5.00% due 11/12/2019	債券	メキシコ	3.1
6	Petro Co Trin/Tobago Ltd 9.75% due 14/08/2019 REGS	債券	トリニダード・トバゴ	2.7
7	Republic of Armenia International Bond 7.15% due 26/03/2025 REGS	債券	アルメニア	2.7
8	Turkey Government Bond 8.70% due 11/07/2018	債券	トルコ	2.7
9	Banque Cent de Tunisie International Bond 5.75% due 30/01/2025 REGS	債券	チュニジア	2.5
10	Ghana Govt 18.25% due 25/07/2022	債券	ガーナ	2.4
組入銘柄数		75銘柄		

（注１）（Index Linked）インフレ連動債です。※
（REGS）Regulation Sの略。米国外での証券の募集に関して1990年に米証券取引委員会より定められた規制です。米国企業が米国外で募集した証券については当局での登録義務が免除されており、米国証券を購入する海外投資家の負担を軽減しています。※
※はアセットマネジメントOneにて追記
（注２）比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
（注３）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載してあります。
（注４）国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。
（注５）上記の表は、ザ　バンク　オブ　ニューヨーク　メロン　シンガポール支店の財務書類（無監査）をもとに記載してあります。

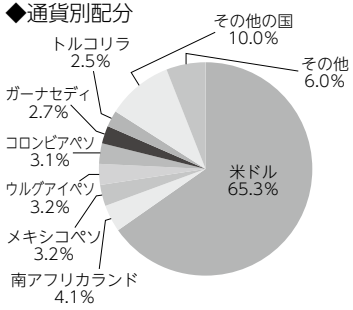
◆資産別配分



◆国別配分



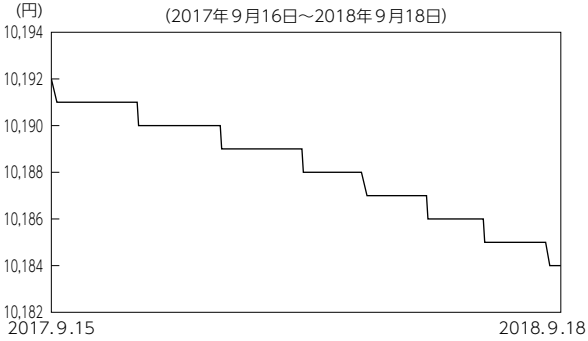
◆通貨別配分



（注１）比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。
（注３）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。
（注４）比率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。
（注５）上記の表は、フランクリン テンプルトン インベストメント マネジメント リミテッドが作成したデータをもとに記載してあります。

［マネー・マーケット・マザーファンド］

◆基準価額の推移



◆１万口当たりの費用明細

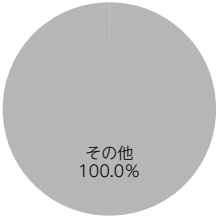
(2017年９月16日～2018年９月18日)

該当事項はございません。

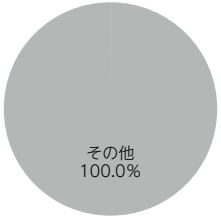
◆組入上位10銘柄

2018年９月18日現在、有価証券等の残高はございません。

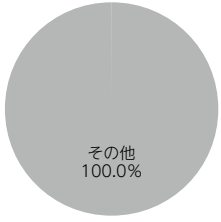
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。
（注３）比率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

＜当ファンドの参考指数について＞

●JPモルガン エマージング マーケッツ ボンド インデックス グローバル ダイバーシファイド（円換算）

・JPMorgan EMBI Global Diversified indexは、エマージング諸国の発行する米ドル建て国債で構成される指数です。JPモルガン エマージング マーケッツ ボンド インデックス グローバル ダイバーシファイド（円換算）は、JPMorgan EMBI Global Diversified indexをアセットマネジメントOneが円換算したものです。

・JPMorganは、「JPMorgan EMBI Global Diversified（JPモルガン エマージング マーケッツ ボンド インデックス グローバル ダイバーシファイド）」が参照される可能性のある、または販売奨励の目的でJPMorgan EMBI Global Diversifiedが使用される可能性のあるいかなる商品についても、出資、保証、または奨励するものではありません。JPモルガンは、証券投資全般もしくは本商品そのものへの投資の適否、またはJPMorgan EMBI Global Diversifiedが債券市場一般のパフォーマンスに連動する能力に関して、何ら明示または黙示に、表明または保証するものではありません。JPMorganは、JPMorgan Chase & Coならびに全世界の同社の子会社および関連会社のマーケティングネームです。

Copyright 2006 JPMorgan Chase & Co. All rights reserved.

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

●「東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。

●「ＭＳＣＩコクサイ・インデックス」は、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス」は、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本）」は、ＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣの知的財産であり、指数に関するすべての権利はＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣが有しています。

●「ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド」は、Ｊ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はＪ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

Asset
Management
One